

N1 文法总结

1、原因结果		
接续	文型	中文
体言	あっての	因有.....才
体言の	ことだから	因为
用连	こととて	
用连	ことだし	
用连	だけのことはある	
体言	とあって	
假定	ばこそ的结果
体言	ゆえ（に・の）	
用连		
用连	始末だ	
体言の		
た	ところ	乃至于
	てまで	
假定	ばそれまでた	也就那样
动终	までだ までのことだ	只是，大不了就
动终	ほかしかたがない	只能
体言	を余儀なくされる	
体言	を余儀なくさせる	
体言	にあって	处于.....下
2、数量		
接续	文型	中文
体言	なたでは	只有.....才
用连	のは～ぐらいものだ	只有，仅仅
体言	にして	
体言	のみ	
体言	をおいで・を除いて	不仅仅
用连	のみならず・のみか	
体言	とどまらず	
连用	～つ～つ	又.....又.....
	～だの～だの	或.....或.....
动终	～なり～なり	
体言	～とか～とか	
体言	はともかく	姑且不说
	もさることながら	自不必说
	は言うまでもなく	
	は言うに及ばず	
	はおろか・どころか	岂止
	ずくめ	清一色

3、转折和让步		
接续	文型	中文
用终、体言	とはいえ	虽然.....但是
	とはいっても	
	とは言うものの	
连用	ながら（も）	
用连	ものを	本来.....但是
体+の	いかんによらず	无论
	いかんにかかわらず	
	いかんを問わず	
体言	にかかわらず	
	にかかわりなく	
推量	が・と	
推量	～が～まいが	无论.....还是
	～と～まいと	
体言	～であれ～であれ	
体言	～といい～といい	
	～といわず～といわず	
	～たると～たるをとわず	
动连	だに	即使
体言	たりとも	
体言	であれ・であろうと	
体言	といえども	
た	とことで	
体言	としたとことで	
	にしたとことで	
	とて	
	ても	
未然	ないまでも	即使不.....
推量	にも可能否定ない	即使.....不能
4、肯定和否定		
接续	文型	中文
未然	ずにはいられない	不由得
	ずにはおかない	
	ずにはすまない	
体言	を禁じ得ない	
未然	ないものでもない	不是不
	ないでもない	
体言	なかたかない	不难做
	てしょうがない	受不了
	てたまらない	

体言	をようそに・をおして をものともせずに	不顾
动形	のなんのて	还说不
连体	なんでもんじゃない	不至于
用连	ほど～ではない	
未然	ずにすむ	可以不做
未然	ずじまい	不了了之
未然	ないように	为了不
た	かいてもなく	没有价值
	てもはじまらない	无济于事
5、时间和条件		
接续	文型	中文
体言	をかわきりにして をきっかけに	以.....开端
た	が最後 拍子に	一.....就
动终	が早いか そばから なり や・やいなや	
体言	かたがた	
连用	がてら	
体+の	かたわら	一边.....一边
体言	ながらに（の）之后
	てからというもの ここ～というもの	这.....以来
ている	ところを	正要.....这时
动终	ともなく	无意中
动终	に至るまで	直到，甚至
动终	とあっては	如果
体言	とあれば	
动终	としたら	如果不.....也
体言	かさもないと かさもなければ	
名词	ならまだしも	如果...还可，但
体言	ならいざしらず ならともかく	如果...不得而知
动终、体言	ともなると ともなれば	一旦.....就
	ともなっては	
体言	に至っては	到了.....话

体言	の至り	非常
体言	といったらない ったらない	
连用	まくる	一味地
用连	きらいがある	有点
体言	ふう（だ）的样子
连用	っぽなし	置之不管
用终	と思いきや	原以为
	てやまない	衷心希望
	てみせる	决心做
用连、体言	ごとし ごとく ごとき	好像
体言	めく	
体言	まがい	
未然	と言わんばかりに	
未然	んばかりに（の）	几乎
动终	とことだった	
体言	たるもの ともあろうものが としたことが	作为
体言	たるもの ともあろうものが いかんによっては	根据
体言	にそくして（は）	
体言	をもって	凭借；用
体言	をふまえて	关于
体言	なりに・なりの	适合的
7、其他文法		
接续	文型	中文
体言	ときたら（ときては）	提起
名词	とやら	听说
用终	とは	竟然
名词	もあろうに	居然还有
体言	に引き換え	与.....相反
用终	くらいなら	与其.....不如
用连	だけましだ	还好
体言	に（も）まして	比.....更.....
名词	きって	在.....最好

N1 文法总结

体言	まみれ	满足	体言	でなくてなんだろう	这就是	动终	に至ると	一旦.....话	名词	をピックにした	以.....为最	
	すら・さえ	就连	动终	にこしたことはない	最好做	动终	ことなく	在没有做.....	用终	べく	为了	
体言	からある	在.....以上	连用	かねる・づらい	不能		ことなしに		体言、用终	未然	んがため（に）	为了
	からする		动终	べくもない	不可能	体言	なくしては			にたえる	にたる・に足りる	值得
	からの		体言	ではあるまいし	又不是		なしには					
体言	を限りに	以.....为限	动终	に（は）あたらない	不值得				体言	にかこつけて	以.....为借口	
	をしおに		动终	にたえない		6、感觉、比況&手段			体言	にかこつけて	以.....为借口	
动连用	こそすれ～ない	充其.....但不	动终	までもない	没必要	接续	文型	中文	连用	よう的方法	
サ词干				には及ばない		用连	限りだ	非常	体言	を経て	经过	
体言	ということだ	大约	动终	べからず		形动词干	極まる		体言	あげればきりがない	没有止尽	
	べからざる			極まりない			体言			でもともとだ		也无所谓
	あたり		体言	まじ・まじき						の極み		